



CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」の最高評価に初選定

三和ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区／社長：高山靖司）は、国際的な環境非営利団体 CDP が実施する 2025 年の CDP 「サプライヤー・エンゲージメント評価（SEA）」において、最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に初めて選定されました。

CDP のサプライヤー・エンゲージメント評価とは、「CDP 気候変動質問書」に回答した企業を対象として、当該企業が気候変動課題に対しサプライヤーとどのように効果的に協働しているかを「ガバナンス」、「目標」、「Scope3 排出量」、「バリューチェーン・エンゲージメント」の 4 分野の質問への回答と、CDP 気候変動質問書全体のスコアを考慮して評価するものです。

当社は、CDP2025 の「気候変動」分野においても最高評価の「A リスト」に選出されており、2 部門での受賞となりました。



三和グループは、持続可能な社会の実現に向け、CO₂排出量の削減目標「2027 年度目標：2019 年度比 20%削減（三和シャッター工業）」、「2030 年度目標：2019 年度比 30%削減（三和シャッター工業）」および「2050 年度目標：三和グループとして事業活動に伴う CO₂排出量実質ゼロを目指す」を策定し、省エネの推進、太陽光発電設備の導入など CO₂排出量削減へ向けた様々な取り組みを行っています。三和シャッター工業では、省エネルギーに寄与する高断熱商品・サービス「Re-carbo（リカーボ）」シリーズを展開し、お客様の CO₂排出量削減にも寄与しています。また、低 CO₂鋼材の GX スチールを採用した鋼製重量ドア「YAG®ドア green flag」を発売し、自社のみならずサプライチェーン全体での CO₂排出量削減にも取り組んでいます。

今後も三和グループはサプライヤーの皆さまとの協働により、商品ライフサイクルを通じた環境負荷低減への取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■三和ホールディングス サステナビリティサイト

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/csr/>

■三和ホールディングス 脱炭素社会へ向けた取り組み

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/csr/environment/contributive.html>